

松本市中央図書館あり方検討委員会報告書（素々案）の概要

はじめに

1 図書館の役割とは

2 松本市図書館が抱える課題とは

(1) 現状

(2) 課題

- ・一定の利用はあるものの市民の8割は図書館を利用していない現状から図書館に来ない市民をどう呼ぶかの取組みが必要。
- ・市民の読書や調査等の活動の充実に向けた様々な事業の認知度や利用度が低く、予約や児童サービス以外の図書館サービスの周知が不十分。
- ・市民への豊富な蔵書の「見える化」が十分でなく、市民に効果的にわかりやすく使いやすくするための取組みが必要。
- ・複雑化・多様化する市民ニーズの把握と的確な対応が十分でない。
- ・安心安全かつ社会状況の変化に伴う、利用しやすく居心地の良い施設や設備の整備が十分でない。

3 松本市図書館がめざしたい将来像とは

- ・一人ひとりの課題解決を支援し、地域に役立つ図書館
- ・より良く生きるために役立つ資料や情報を提供する図書館
- ・市民の「学び」と「活動」がつながる場

4 将来像の実現に向けた図書館サービスとは

- (1) 一人ひとりの課題解決を支援し、地域に役立つために
- (2) より良く生きるために役立つ資料や情報の提供
- (3) 市民の「学び」と「活動」がつながる場

5 職員や運営体制に求められるものとは

6 めざすサービスの実現を支える施設と設備とは

終わりに

資料